

## 秋田放送

活動名	ABS アナウンサー読み聞かせ隊
実施期間	令和6年6月～令和7年2月
実施回数	会場4回

### 【事業実施の成果・課題】

生きていく中で必要な 読むこと・話すこと、コミュニケーションの大切さを子どもたちに理解してほしいという学校現場の声を受けて、読み聞かせに加えてアナウンサー体験を実施しています。

楽しく理解できるようにと、訪問するアナウンサーそれぞれがメニューを考えて、子どもたちに接しています。

弊社の読み聞かせ事業に賛同してくださる学校、あるいは携わった先生の異動先の学校から申し込みが舞い込み、実施する我々も毎年楽しみにしています。

アナウンサーも手ごたえを感じていて、より充実した読み聞かせ活動となるよう鍛錬していきたいと考えています。新規の申し込みが増えるよう、引き続き PR 活動にも努めていきたいと思えます。

### 【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

#### <田村アナウンサー>

地元土崎地区にある趙レトロな「うどんそばの自販機」の絵本を題材にしました。クラスのほとんどがその自販機を知っていて食べたこともあります。さらに登場人物が身内だという児童も。身近にある自販機が全国的に知られていて、そこにドラマがあることも伝えられて本の選択は正解でした。

アナウンサー体験では子どもたちが積極的に参加してくれて、嬉しかったです。

#### <酒井アナウンサー>

今回初めて詩集を題材に使いました。短い言葉で書かれた詩だからこそ、間やテンポに変化を加えて心に響く読みになるよう心がけました。想像を膨らませて聞いているのが子どもたちの表情から感じられました。

#### <関アナウンサー>

気持ちを込めて、児童たちに語り掛けるように読みました。普段のアナウンサーの業務では、視聴者の顔を直接見ながら話すことはできませんが、聞いてくださる”視聴者の顔”を想像して話すことがいかに重要なのかを知ることができました。

## 【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

### <土崎小学校・佐藤教諭>

国語の時間に音読と朗読の違いを取り上げましたが、まさにこれが朗読だと、子どもたちが理解してくれたと思います。声を出すだけでなく、気持ちを込めて場面を想像させる読み方を生で、それも近くで聴けて良かったです。

### <高清水小学校・筒井教諭>

子どもたちが自分の可能性を信じ前向きに進むことを励ましてくれる内容の本の朗読でした。豊かな表現力で心にしみわたりました。子どもたちにとって忘れることのない宝となり、将来必ず生かされていくと感じました。

### <北陽小学校・太田校長>

素敵な読み聞かせや発声の仕方などプロの方からのアドバイスが、子どもたち一人一人のキャリアの意識への刺激になったようでした。保護者、地域の方々も大変喜んでおられました。

### <土崎小学校・児童>

読み聞かせで、一人一人の登場人物の声を一つ一つ変えていたので分かりやすかったです。声の出し方や早口言葉を練習してテレビに出ていて、格好いいと思いました。

### <旭北小学校・児童>

素敵な話し方講座をやってくれてありがとうございます。

私も“質問の授業”のときに、表情豊かに相手の良さを引き出すことができました。

### <高清水小学校・児童>

読み聞かせのとき、アナウンサーの声は大きくはっきりしていて聞きやすかったです。

感情が入っているセリフを読むときに、声だけでどんな感情なのかが分かりすごいなと思いました。